



くらし・福祉・子育てを 優先する市政へ

やまべひろし

日本共産党

熊本市議団 市議会だより

党市議団は毎年市民アンケートに取り組み、みなさんの声を市政に届けてきました

日本共産党市議団が行った市民アンケートでは、「国保料が高くて払えない」、「介護保険の負担が重く、サービスが受けられない」、「子どもを保育園に入れられずとても困っている」、「一部損壊世帯には何の支援もない」などの声が寄せられています。市議団は寄せられた声を議会で取り上げ、実現に取り組んできました。

市政に望むこと（市民アンケートより）

- 第1位 国保料の引き下げ
- 第2位 生活再建に向けた被災者支援
- 第3位 貧困対策
- 第4位 介護保険料の負担軽減・サービス拡充
- 第5位 税金のムダづかいをしない

くらしの願いに応じて実現

- ◇小中学校のバリアフリー化
- ◇児童育成クラブに専任指導員配置
- ◇第3子保育料無料化拡充
- ◇龍田出張所を総合出張所に格上げ
- ◇生活保護世帯へ健診券送付

政令市で一番高い「国保料」一引き下げ、減免制度の拡充へ

市民のみなさんと熊本市に要望

市民団体と共産党市議団で熊本市に対し、引き下げの要望を行いました。減免制度の拡充や不当な差し押さえの中止も求めました。

国民健康保険証の留め置き改善・減免制度拡充を実現しました。



日本共産党の提案

1. 一般会計からの繰り入れを元に戻し、保険料を1世帯1万円引き下げる。
2. 全国知事会などが要望している1兆円の国庫負担増額で、「協会けんぽ並み」の保険料にあわせて、「均等割り」をなくす。

小中学校すべての 普通教室に エアコン設置を実現

保護者や学校関係者からの強い要望に応え、党市議団がくり返し求めてきた小中学校普通教室へのエアコン設置が、2018年度に完了しました。現場からは「ほんとうによかった」と喜びの声が寄せられています。



子どもの医療費助成「完全無料化」こそ必要です

市民団体と共産党市議団が繰り返し要望してきた「中学3年生までの対象年齢拡大」が実現しました。一方、窓口負担は、4歳から小学3年生までを500円から1400円へと3倍に引き上げられました。日本共産党市議団は完全無料化にとりこんでいます。



熊本地震 被災者に寄りそった支援の拡充を求めてきました

提案が実を結びました

- 避難所の食事改善
- 仮設住宅への入居要件の緩和
- 仮設住宅への物置の設置
- 宅地被害復旧の自己負担軽減
- グループ補助の実現



医療費減免制度の復活を！

被災者の医療費減免が、わずか1年半で打ち切られました。東日本大震災の福島県・岩手県では、8年たった今でも医療費減免制度を継続しています。熊本でもすみやかに復活すべきです。

仮設住宅の入居期間延長を

熊本では、住まいが見つからない中でも仮設住宅の入居延長を認めない方針を打ち出しています。被災者切り捨てのしめ出しはやめて、希望するすべての被災者に入居延長を認めるべきです。

一部損壊世帯への支援拡充を求めていきます

一部損壊を含め、すべての被災世帯に災害救助法に基づく支援金を支給すること、国の支給基準を引き上げることを求めていきます。



住民要求を市政に届けてきました



市営住宅の改善を要望

市営住宅の居住者へのアンケートを行い、寄せられた要望をもとに市への交渉を実施。畳替え・網戸の設置・老朽化した施設の改善、ハトの害対策、バリアフリー化などを要望しました。



身近な道路や公園、カーブミラーなど 土木センター交渉で住民要求実現

公園の整備（手すりや整地、樹木の剪定など）、道路の舗装打ち換え、カーブミラー設置、浮き上がったマンホールの改善、道路や公共地の樹木剪定、街灯の設置など、市民のみなさんに寄せられた要望を取りまとめ、毎年市内3カ所の土木センターに要望してきました。その大部分が改善につながっています。



桜町再開発450億円・熊本城見学通路18億円・花畑広場20億円など… 大型ハコモノ建設、市政のムダづかいストップを

桜町再開発・熊本城ホールへの450億円の税金投入に象徴されるバブル期を上回るような大型ハコモノ・再開発のムダづかいをただし、ストップを求めてきました。



旧花畑町別館・産業文化会館の存続利活用を

市有施設の長寿命化・有効活用、歴史的建造物の保存の立場から、旧花畑町別館・産業文化会館の解体中止、活用を求めてきました。



消費税10%増税中止、戦争法反対、原発再稼働中止を！

日本共産党市議団は、国政の課題でも市民の立場で意見を述べてきました。主な問題での各会派の賛否です。

	共産	自民	連合	公明	未来	市政	教育	自由	善進	創生	明政	創世	和
消費税10%増税中止を求める請願（2018年9月）	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—
安保関連法案の廃案を求める請願（2015年6月議会）	○	●	○	●	●	●	●	—	●	●	●	●	○
川内原発の稼働中止を求める請願（2015年9月）	○	●	※	●	●	●	●	—	●	●	●	●	○

※は、会派内で意見が分かれたもの



議員の暴言・パワハラ問題

ただ先頭に

議員の暴言・パワハラ問題の全容解明、追及の先頭に立ってきました。市民団体と協力して政治倫理条例にもとづく調査請求を行い、政治倫理審査会が開催に。議会での3度の辞職勧告・政治倫理審査会の辞職勧告に至る一連の動きの中で積極的に発言し、議会が一丸となって失職へと追い詰めました。失職は取り消されても、「辞職勧告」の事実は変わりません。

自然を壊し、市民に危険をもたらす 立野ダム建設は中止を！

熊本地震や西日本豪雨災害などの発生で、ダムが流域住民に危険な被害をもたらすことが証明されました。共産党市議団は、危険な立野ダムの建設中止・河川改修の促進を繰り返し、議会で求めてきました。



ご相談は日本共産党熊本市議団へ！
☎328-2656

日本共産党

2019年号外（春の号）

熊本市議団 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団 熊本市中央区手取本町1-1 TEL: 328-2656 FAX: 359-5047
メール: kumamsu@gamma.ocn.ne.jp ホームページ: 共産党 熊本市議団 検索